

一般財団法人 生産開発科学研究所

## 平成30年度(第33回)新材料・新技術利用研究会 参加のご案内

新製品開発を成功させるためには、特に新材料や新技術の利用に関する適確な情報とその活用が重要であるとの認識に立脚し、当研究所において昭和60年に発足いたしました本研究会は、お蔭をもちまして本年度で33回目を迎えます。

本研究会は、最近注目を集めている各種新材料や新技術を取り上げ、これらについて研究されている学界の先生方から基礎的な解説と利用の可能性を、その新材料や新技術の開発、製造の現場に携わっておられる産業界の方々から具体的な解説と用途を紹介して頂くことを目的として実施いたします。広い分野にわたる各種新材料及び新技術について、学界と産業界との両面から有益な情報の修得と、それらの具体的利用事例を勉強して頂くことが可能な研究会です。

従来から行っております内容に加え、特に今年度の新しい試みとして下記内容を実施いたします。

・定例研究会に加え、学界側及び産業界側から特に注目を集めている講師をお招きし、特別講演を実施

➡産業界側講師＝10月、学界側講師＝2月 の実施を予定しております。

・本研究会の大きな特徴である「会員企業間の交流を深める」ことにより注力

➡会員企業様から可能な限り会社情報をご提供いただき、これを取りまとめて全会員間で共有することといたします。

過去32回の参加者各位からは、幅広い新材料・新技術情報の取得と利用の可能性を追求することができたという点でご好評を博しています。更には、新材料・新技術を利用して新製品開発に成功された企業や新材料のサンプル提供を受けて新製品開発に着手されている企業、会員企業間で新製品の共同開発に乗り出され、製品化に成功されたケース等も報告されています。この新しい試みが、これらの発展・成功の更なる一助になるものと存じております。

つきましては、現に新製品開発活動を積極的に進められている企業は勿論、これから当該活動に取り組もうとされている企業にとってもお役に立つ研究会であり、特に技術・製品開発の第一線で活躍されている方には、充分な実を挙げて頂けるものと自負いたしておりますので、本研究会にご参加賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

### 《当研究所の概要》

当研究所は、昭和22年、京都大学の一室を借用し創立され、文部省所管の財団法人として活動して参りました。この間、政府関係機関の補助金や企業の寄附金等に頼ることなく、不特定多数の企業から委託される研究・技術指導等の委託料や知的財産権の実施料収入を主たる財源として運営している独立型の研究機関です。

お蔭をもちまして平成28年度で創立70周年を迎え、設立当初より、京都大学を始め、学術研究機関と緊密な連携を保ち、企業の新製品開発等のお手伝いをするため、3800件余の契約を締結しております。

新材料・新製品の研究開発を通して学界・産業界のお役に立つよう微力ではありますが、産学連携の研究開発機関として学界と産業界の橋渡しを行うと共に、研究成果の育成に貢献して参りました。

開催要領	
参加対象	新材料や新技術の利用に関心をお持ちの企業の経営者、技術・製品開発幹部及び担当者等
開催会場	(一財)生産開発科学研究所 第2会議室 所在地：京都市左京区下鴨森本町15 TEL.075-781-1107(代) *アクセス等については、当研究所ホームページをご覧ください。 <URL> URL <a href="http://seiken-site.or.jp">http://seiken-site.or.jp</a>
開催期間及び回数	平成30年9月～平成31年3月までの（1月を除く）毎月1回 <計6回開催/年間>
開催時間	原則として13時30分より17時00分まで ※開催毎に時間は多少前後します。

実施要領	
開催方式	講演方式とし、別表の各テーマについて1テーマ毎に学界の先生1名及び産業界の専門家1名を招聘します。尚、毎回、当該開催日の約1ヶ月前に研究会案内状を窓口担当者へ案内し、出欠を確認いたします。
実施内容等	<p>《開催フロー》</p> <p>①毎回、13時30分から5分程度の簡単なオリエンテーションを行います。</p> <p>②まずは、新材料・新技術分野に造詣の深い学界の先生より、当該研究テーマに関する基礎的な技術的知見と解説を、続いて産業界の専門家より、当該研究テーマに関する具体的な利用方法及び用途の可能性について聴講します。</p> <p>③両講師の講演終了後、質疑応答を含むディスカッションにより新材料・新技術の利用方法を探索します。また、希望される会員は講師と名刺交換を行って頂きます。</p>
	*年2回（9月及び3月を予定）、研究会終了後に懇親会を開催し、参加会員相互の親睦を深めて頂きます。
	*懇親会やディスカッション時間等をもって参加会員間の交流を図り、新材料や新技術を利用した新製品開発の方策を探ります。
	*原則として、講演資料はパワーポイント(スライド)を講師より入手次第、そのPDFを会員へ提供し、内容を事前に把握して頂く予定です。尚、希望者には開催当日に紙媒体資料をお渡しします。

参加申込要領	
申込方法	添付の会員申込書に必要事項を記入の上、下記事務局へe-mail、FAX、郵送のいずれかの方法によって、お申込ください。(1会員につき1枚の申込書が必要です)
申込締切	平成30年8月10日(金) 必着 <定員になり次第、申込受付を終了いたします>
申込先/事務局	〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町15 (一財)生産開発科学研究所 新材料・新技術利用研究会事務局 宛 TEL.075-781-1107(代) FAX.075-791-7659 e-mail : <a href="mailto:nmt@seiken-site.or.jp">nmt@seiken-site.or.jp</a>
会費	1会員につき170,000円/年間（消費税を含む） ※会員申込書を受領後、会費請求書を発行の上、窓口担当者へ送付しますので、平成30年10月末日までにお支払くださるようお願いいたします。

\*別表の詳細な開催日程については、参加申込者にご連絡いたします。

申込締切：平成30年8月10日(金) 必着

## 平成30年度(第33回) 新材料・新技術利用研究会 会 員 申 込 書

申 込 日	平成30	年		月		日
企 業 名						
窓 口 担 当 者	所 属 ・ 役 職					
	氏 名					
	e-mail	@				
	住 所	〒 —				
	TEL					
	FAX					
	案内先等確認 (右記空欄どちらか 又は両方に✓)	開催案内状や講演資料は私に送信されたい				
	開催案内状や講演資料は以下の参加者に送信されたい					

◎研究会への参加者が上記窓口担当者と異なる場合は、下表にも記入してください（窓口担当者で  
且つ参加者でもある場合は、下表には「窓口担当者と同上」とし、年齢は記載のこと。）。

参 加 者	氏 名	年 齢 (才)	所 属 ・ 役 職
			e-mail
			@

\*参加者が研究テーマ等により毎回相違されることは差支えありませんが、参加できるのは1会員(企  
業)につき1名となります。[参加者が毎回異なることが予想される場合にも、上表には代表1名を  
記載してください(会員申込受付後に他の参加者を確認いたします)。]

尚、テーマによって複数名の参加を希望される際には、会場収容等の都合上、会員申込受付後、事  
前にご相談ください。この場合、別途、追加1名につき参加費/回を申し受けることとなります。

通信欄：

平成30年度[第33回]新材料・新技術利用研究会  
研究テーマ及び講師

2018年5月10日現在

開催回数・開催順	研究テーマ 開催日	講師 [敬称略]			
		学界側		産業界側	
		氏名	所属・役職	氏名	所属・役職
1	元素ブロック 2018年9月3日(月)	中 建介	京都工芸繊維大学 工芸科学研究科分子化学系 教授	松川 公洋	元大阪市立工業研究所
2	有機エレクトロニクス 2018年10月26日(金)	矢持 秀起	京都大学 大学院理学研究科 教授	山田 武	住友化学株式会社 有機EL事業化室 部長
	<特別講演> 世界最強磁石 -Nd-Fe-B焼結磁石の発展-	佐川 真人	大同特殊鋼株式会社 顧問	産業界からの特別講演として「世界最強磁石」を取り上げ、第2回開催時に組み込みます	
3	セルロース ナノファイバー(CNF) 2018年11月16日(金)	仙波 健	地方独立行政法人 京都市産業技術研究所 高分子系チーム チームリーダー	根本 明史	三菱ケミカル株式会社 情報・ディスプレイ部門 情報・ディスプレイ企画部技術・市場調査Grグループマネージャー
4	超硬ガラス 2018年12月14日(金)	増野 敦信	弘前大学大学院理工学研究科 物質創成化学科 准教授	村田 隆	日本電気硝子株式会社 材料技術部 部長
5	ナノ構造酸化物 2019年2月5日(火)	高田 潤	岡山大学大学院工学研究科 無機材料化学講座 特任教授	青木 功荘	戸田工業株式会社 経営企画室長兼創造本部長
	<特別講演> 環境に優しい材料 -新しいチタン粉とチタン箔の作り方-	宇田 哲也	京都大学大学院工学研究科 材料工学専攻 教授	学界からの特別講演として「環境に優しい材料」を取り上げ、第5回開催時に組み込みます	
6	超微細塑性加工 2019年3月	太田 稔	京都工芸繊維大学工学部 機械工学課程 マイクロ・ナノ加工学研究室 教授	東芝機械株式会社 (予定)	

\*今年度初回は2018年9月に開催し、年間6テーマといたします。

\*開催順等は変更する場合があります。